

議 長	会議を再開します。 (午後 1時30分)
々	続いて、高良議員の一般質問を行います。3番高良議員。
3番 高良議員	<p>皆さん、こんにちは。午後のちょうど食事の後、眠たい時間ではありますが、一般質問を行います。</p> <p>この度の一般質問は、1点目が「まちごと魅力化センター整備事業について問う」でございます。3月議会に続き、まちごと魅力化センター整備事業について問う。3月議会において、江風寮の現状や寮を必要とする町外、県外からの生徒数の状況説明を受けた。また、三宅町長より事業の進行にあたっては、丁寧な説明をしていくとの答弁を得ている。しかし、去る5月29日の島根中央高校後援会総会において、公立高校において、全国で3校目となる女子野球部の創設の計画が示された。</p> <p>以上のことを踏まえて以下の質問をする。</p> <p>1つ、女子野球部の創設を本町は知っていたのかどうか。</p> <p>2つ、島根県が高校の寮を新設しない現状においては、すでに本町が建設しなければならない状況となっているのではないか。</p> <p>3つ目、女子野球部が創設されれば、練習はどこで行うのか、でございます。</p> <p>続きまして、2つ目としまして「本町が取得したJR跡地の利用計画を問う」でございます。</p> <p>この6月でJR三江線が廃止されて3ヶ月目になります。跡地にもポツポツ雑草が生え始めてきましたが、旧川本駅周辺、旧因原駅周辺の跡地利用計画は、いつ示されるのかを問うものでございます。</p> <p>以上、2点でございます。</p>
議 長	それでは、高良議員の質問「まちごと魅力化センター整備事業について」に対する、答弁をお願い致します。番外杉本まちづくり推進課長。
番外杉本ま ちづくり推 進課長	<p>高良議員、一般質問のうち「まちごと魅力化センター整備事業について問う」の、ご質問に対してお答えを致します。</p> <p>島根中央高等学校は、町外に向け積極的な生徒募集活動を行っておりますが、本町も地元高校を存続させるため、その活動に共同し、積極的な県外生募集活動、また、必要な施設整備や通学支援などしております。</p> <p>生徒の状況につきましては、地元から入学する生徒の絶対数が少ない中であって、本年度4月の時点で全校生徒241名の内、188名の町外生が在学しております。島根中央高校の定員数は1学年90名の全学年270名ですが、近年の入学状況を見ますと、地元である町内からの入学生はこれまでと同様に推移する一方で、島根県内から入学される町外生につきまし</p>

番外杉本ま  
ちづくり推  
進課長

ては減少傾向にありますので、高校を存続させるためには、一層、県外からの入学を促進していく必要があるとの判断をしております。また、全校生のうち、県外生は81名ですが、そのうち67名が男子生徒であり、女子生徒は14名にとどまっておりますので、県外からの入学生を増加させるためには、特に女子生徒を獲得する必要があり、そのために学校活動や生活環境をより魅力のあるものにしていくことが肝要であると考えております。

議員からのご質問にもありますように、先般の島根中央高等学校後援会の総会において、高校から、今後県外生をより一層獲得するという観点から、女子硬式野球部創設の説明がなされております。

ご質問の1項目め、「女子野球部の創設を本町は知っていたのか」というご指摘につきましては、これまでも県外生募集活動を高校と町で共同して行っておりますので、今後の活動において、女子に着目し、そのために何らかの対策を講じなければならない旨の協議はしており、具体的な案のひとつとして女子硬式野球部の創設につきましては承知をしておりましたが、部活動の新設につきましては、高校の教職員の理解と保護者会での賛同が必要とのことでありますので、先般の高校からの説明につきましては、一定程度の段階を踏まえたうえで、報告されたものであると承知をしております。

2項目め、「本町が寮を建設しなければならない状況にあるのか」のご質問につきましては、島根中央高校を存続させるための町外生徒募集活動に連動して必要不可欠な施設整備であるとの考えをしておりますが、財源やランニングコストについて十分に掌握したうえで取り組むべきであると考えております。また、将来にわたり、高校が存続できる生徒数を確保するためには、施設整備だけでなく、地区の魅力化を図り、生徒を循環させることが肝要であると考えております。

3項目めの「女子野球部の練習場につきましては」は、現在は具体的に示されておりませんが、高校において、創部にあたり特に新たな施設整備は必要ないとの判断をされているところでございます。以上でございます。

議 長

再質問ありますか。3番高良議員。

3番  
高良議員

3月の一般質問の時にも、その事業費が7億4千万を超えるような事業費の総額ですので、もっと丁寧な説明が欲しいという事で質問をした訳ですが、こうやってその後こういう野球部の創設をしたいとかいうような話が聞こえてきまして、そういう話も出ているという事を事前に説明していただければ、その可能性も含めて、この間のように特に反論するところではなかったのかなと思いますが、こういう状況であると、また先程来言われますように町外生の状況も3月にも聞きました。そういう事を考えて、全く必要では無いという訳では無いですが、この事業費が余りにも大きいという事。それと3月にも総務課長の方にも聞きましたが、これは想定済みかと、これから平成31年度から返していく借入の返済等々の事も含めて、これも入っている

3番  
高良議員

のかという話を聞きましたら、想定しているという答弁でございましたので、それはよく分かるんですが、何にしても事業費が大きいもので、簡単に言えば防災無線をやり替えたのと同じような事業費ですので、本当にこれで大丈夫かなという心配は少しあるのが正直なところですよ。それと3月にも言いましたが中央高校の支援につきましては、町民体育館を野球部の雨天練習場に改築。それと今ではJRの廃止に伴ってバスの通学されている皆さんの費用を14,000千円ぐらいでしたかね、負担しております。それと学習交流センターの運営費も県からはきておりますが、その残りは町が負担しているというような状況の中で、この建物を建てて3月議会の答弁では運営費は500万ぐらいだったと思うんですが、600万でしたか、というよう答弁ではありましたが、こういう今日の他のいろんな質問でもありましたように、財政的に苦しい中での持ち出しになっていきます。その中において、いったいこの高校支援に幾らまでなら町として出していくのか、またこの今、本来は、まちごと魅力化センター整備というのは、その町の弓市の活性化に繋げていくというような視点も含まれているようですが、これがこの弓市の活性化に対して、3月議会のように細かい数字はもう言いませんけども、本当にどういう場面でどのように繋がっていくのかという青写真というか、そういう目論見というものがあるのだったら、ちょっと聞かせてもらいたいです。

議長

番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本まちづくり推進課長

この女子寮と言いますか、この魅力化センターの話でございしますが、当初の段階では旧役場跡地の利用をどうするかというところから話が出てきて、実際に先ほども申しましたように、中央高校もですね、今現在81名の県外生の内、女子生徒が14名しかいないというところで、従前からより一層生徒数を増やすという観点。それから島根県内の町外生の数が、どんどん減っているという状況にありますので、ここは県外生をより多く獲得しなければなりません。その為には、やはり女子という事で注目をしたというところがあります。女子寮を弓市地区に建てるという事で、単純にですねその女子寮だけを建ててもやはりこれは生徒が循環をするという事には至らないのではないかと。やはり生徒が魅力を感じるような地区の魅力化というものも図っていかねばならないというところでもあります。弓市地区の魅力化の構想につきましては、町長からもお話がありますように学生も魅力を感じるまちづくりをしよう。学生がではなく学生もでございしますが、当然、地区に住んでおられる方も魅力を感じなければいけないまちづくりをするというところでもありますけれども、そういった地区の魅力が上がることで、やはり学生が引き続き将来にわたり循環すると。それから今、県教委あたりでもお話が出ておりますけれども、卒業後の関係人口を増やすという事を、非常に求められておりますので、当然、高校生、県外生は卒業して町外に出て行く訳です

番外杉本まちづくり推進課長 議 長	<p>けれども、そういった川本町に関わる関係人口の増加を図っていくというところを目指しておるところでございます。</p> <p>再質問ありますか。3番高良議員。</p>
3番 高良議員	<p>その魅力がある地区を作るという事なんですが、じゃあ具体的に生徒やこの地区、今住んでおられる方がその魅力のある地区というのは、これは非常に関連的な言葉で個々の内容については非常に難しいとは思いますが、この辺の青写真的なものは作れるものなんですか。</p>
議 長	<p>番外杉本まちづくり推進課長。</p>
番外杉本まちづくり推進課長	<p>魅力化の話はこの後するとして、先般の自治会長会議の後に弓市の7自治会の会長さんに集まっていたいただいて、こういった説明もさせていただきました。やはりそこで会長さん方が仰られるのは、やはり自分たちの今の会長さんですのでお孫さんぐらいの世代になるんですけども、そういった世代になった時に地元で高校が無いというのは、非常にあってはならん事じゃないかと。やはり高校存続させる為に努力をしていかなきゃいかんという事を、いろいろと仰られる中で、まちの魅力化につきましては、これは決して行政だけで決められるものではないというふうに考えております。この魅力化の検討委員会の中で、特にそういったその町のそれぞれの分野での魅力化というのがどういうものであるのかという事を、これは今年度をかけて検討していきたいというふうに思っているところでございますが。行政、それから関係する機関、それと住民の方。それから特に女子寮という事になりますと、夏休みあたりに高校生意見も聞くような場面ももってきたいというふうに思っております。</p>
議 長	<p>はい、3番高良議員。</p>
3番 高良議員	<p>分かりました。検討委員会もけっこうですが、ちょっと私思うんですが、我々が高校生の頃はなかなか街の中に本屋さんも2軒ぐらいあって、高校生の時に立ち読みなんていうのはしょっちゅうやっておった訳ですが、今どうも話に聞くとなかなか立ち読みもしにくいような状況であると聞きました。子どもにしてみればそういう皆さんも高校生の頃を思い出していただくと、そういう興味のある物はちょろっと立ち読みしたいとか、そういう事はある訳ですよ。そういう高校生、生徒が町へ寄りつくとか町を循環すると言われましたけれども、そうやってうろろする為には、そういう立ち読みが出来るところだとか、ちょろっとケーキでも何でも良いですから摘まんで食べれるところとか、そういうところがないとなかなか今の子どもっていうのは、どこかその街の中を昔みたいにぶらぶら歩く、ぶらぶらという言葉は良</p>

3番  
高良議員

いか悪いか分かりませんが、その回って歩くというような事を、なかなかしにくい時代で、今はこうやってスマホとかインターネットとか、そういう機器が発達してますので、いくらでも一人でも遊べる時代になっています。その中で子どもが動いてもらって賑わいをだすというような考えがあるのであれば、その例えば、店の方に補助金を出して、その立ち読みが出来るような本を揃えるとか、そういう視点もあっても良いのではないかと思うんですが、そういう事もあとあとつまらん事を言いやがってと思われるかも知れませんが、そういう物の見方というか、それも必要ではないかと思しますので、一言付け加えておきます。それと何にしても一番気になるのが、場所なんです。今示されているのは旧役場跡地という案が示されておる訳ですが、これはこの後、先ほど言いましたJR跡地の駅の周辺の事もある訳です。全く無関係ではない訳ですが、その辺の事も含めて、場所的には具体的にはどうされようと今されているんでしょうか。

議 長

番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本まちづくり推進課長

第1回目の弓市地区の検討委員会の時にですね、もし魅力化センターを建てるのであれば、どういった土地が良いだろうかと、どういった場所が良いだろうかという事の協議をしております。候補地として3箇所挙げたところでございますけども、1箇所が中央高校の江風寮の手前にちょっとすごく広いところがあります。その土地。なんせ大きい建物ですので、可成り広い土地がないと建てれないというところがございます。それから旧役場の跡地というところ。それからJRから取得する川本駅周辺の土地というところで、その3箇所考え得るところの3箇所で協議をしたところでございます。検討委員会の中では概ねほぼ全員の方が、やはり旧役場の跡地が良いのではないかというご意見をいただいております。それから高校においてもこういった取り組みをするのは、どこが良いだろうかという事で、いろいろお聞きしておりますが、高校もやはり旧役場跡地が良いと。一つには女子寮という事で警察署が非常に近いという所と、それからやはり高校も弓市地区の活性化の事も考慮されて、そこが良いのではないかというふうに仰っておられます。前提としては旧役場跡地を前提としたいというふうに考えております。

議 長

再質問ありますか。3番高良議員。

3番  
高良議員

3月議会の説明の時に、その役場跡地が既に織り込み済みになっておったので、それで事前の説明が少ないんじゃないかというような話をした訳ですが、今のような今までの状況の説明を受ければ、そうなったのはよく分かりました。本町としても当然あの建物は2番議員さんの質問にありましたように解体していかなきゃならない償却済みの物ですので、解体していかないと。こういう事業にくっつけてやりますと補助金も使えるような

3番  
高良議員 事になりますので、それについては反対するものではありません。町としては、どちらかというJ Rの駅前に作るよりは、旧役場跡地に作った方が町としても財政的には救われるのではないかなど、私個人的には思いますので、場所については分かりました。これを今年度予算には3千何百万の設計費等が載った訳ですが、これ建設というのはだいたいいつ頃の目途になるのでしょうか。

議 長 番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本まちづくり推進課長 まちづくり推進課で考えておりますのは、設計にも概ね半年ぐらいの期間を要するというふうにお聞きしております。なるべくですね、想いとしては早く建築にいきたいという事があります。当然もし旧役場跡地という事になりますと、解体もありますので、出来得れば今年度内に設計と解体というところを、なるべく早く済ませてしまって、出来得れば来年度には着工して来年度末の完成を目指したいというふうに思っております。

議 長 再質問ありますか。はい、3番高良議員。

3番  
高良議員 31年度末の完成を目指すという事で承知しました。なかなか新しいこういう箱物という言葉で一括りにして良いか悪いか分かりませんが、これは将来に繋がる活用が繋がるものですので、今まで建ててきたようなものとは性格が違うのも重々分かる訳ですが、あとのランニングコスト等の事もありますので、なるべく設計の段階からよく話をされて、なるべく使いやすいもの、あとの維持費が安くつくようなものを、よく考えていただいて設計の方に盛り込んでいくようにしていただきたいと思います。何にしても既に建設をするんだという事で進まれているという事で理解しました。

次、3番目の要らん世話だと言われればそれまでなんですが、練習をどこですのかという事で、硬式なんで今は高校のグラウンドは男子野球部が使いますよね。三島の公園は今、硬式は使用禁止状態なんで、ちょっと心配した訳ですが、他にじゃあってという代わりの代替の場所も無いわけですよ、この川本町に。先ほども言いましたけど川本はこうやって野球部の雨天練習場でも高校の為にずいぶん部活の為にやっておる訳ですが、当然この問題も困っているという事になれば、何とかせにゃあいけないんじゃないかという話になるのではないかと思うんですが、その中で町民球場が使えれば多少良い事があるんじゃないかと思うんですが、この町民球場が今、硬式の試合では使えないという状態になっているのを、解消する考えはあるのでしょうか。

議 長 はい、番外瀬上教育課長。

番外瀬上教育課長

今、高良議員が仰った件につきまして、町民球場ですけれども現在、硬式野球の練習試合について使用を取り止めていただいております。これにつきましては、町民球場が出来た時に軟式野球を想定しております。その後、硬式野球が実際に行われました時に、球場の外へファールボールが飛んでいくという問題が近年、起こったという事でございます。その事につきまして、外へ出るファールボールをネットを高くしたりですとか、そういう事で家に入らないようにいろいろ対策はした訳なんですけれども、非常に野球部のレベルも上がっております、ピッチャーの投げる球とバットのスイングが速いために、どんなにネットを高くしても止めれないというのが現在のところでございます。この事について専門家にも相談をしながら、バッターボックスの上に10mぐらいのところにネットを掛けて外へ出るファールボールをたたき落とすようなイメージで今、考えております。これはワイヤーを張ったりとかという事でやればなという事を今相談をしております、この対策が出来れば早々に準備をしたいなという事であるべく早く硬式野球の練習試合が出来るような形をとりたいと思っております。現在、検討しているというところでございます。以上です。

議長

再質問ありますか。3番高良議員。

3番高良議員

内容は分かりましたが、島根中央高校野球部も頑張っておりますし、今日何処々で練習試合があります。どこの高校と試合がありますっていうのを知らせてもらえるんですが、如何せん地元の球場が使える状態なので、みな外へ出ていかなきゃならないと。練習試合も地元と呼べないというような事でなかなか苦労しておられるような状況に感じます。また練習試合で余所の生徒さんが来られた時に、多少でも何か買い物でもしてもらおうと、町の方にもそんなに大した金額じゃないにしても、何か少しは恩恵があるのかなと思っておりますので、なるべくお金の事もあるとは思いますが、これは町民にとっても必要な事だと思いますので、なるべく早く出来る事であれば使えるようにしていただきたいと思っております。以上で、この質問を終わります。

議長

以上で、「まちごと魅力化センター整備事業について」の質問を終了します。

々

次に、2項目めの「本町が取得したJR跡地の利用計画を問う」に対する、答弁をお願いします。番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本まちづくり推進課長

高良議員ご質問のうち、「本町が取得したJR跡地の利用計画を問う」のご質問に回答致します。JR三江線の廃止に伴う鉄道資産につきましては、川本駅周辺及び因原駅周辺を取得することとし、3月末のJR西日本との契約締結により4月1日には町の財産となっております。議員ご指摘の利用計

番外杉本まちづくり推進課長 画につきましては、取得の目的として、川本駅周辺につきましては、一部町道化と駅前ロータリー化を図ることとしておりますが、町道化につきましては他路線との工事の進捗を鑑み計画し、駅前の構想につきましては必要な機能等について弓市地区魅力化検討委員会において十分な検討を重ね計画を立てることとしております。しかしながら、計画が出来ましても、実施までには時間がかかることから、それまでの間においては、町の観光協会が主体となり駅舎や路線を活用した定期的なイベント等を開催する予定としております。また、因原駅周辺につきましては、駅舎部分を従前から利用されている事業者が、継続して利用されておりますが、取得の目的として、将来的な道の駅の改修も視野に入れておりますので、予算措置も含めて、担当課により十分な検討がなされ計画策定されるものと考えております。

議長 再質問ありますか。3番高良議員。

3番高良議員 まず2箇所取得しているわけで、1箇所ずつちょっと話を聞かせてもらおうと思いますが、まず川本駅ですが、先程来ありました観光協会のイベントと言うか、この間もコンサートがあったりしたのは知っている訳ですが、町道化という話でしたが、この今現在JRから貰ってそのままなんです、この線路等の撤去というものは、これはJRさんがされるんだと思うんですが、その撤去されるような時期というものが、だいたい話が出ているんでしょうか。

議長 番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本まちづくり推進課長 線路につきましてはですけども、JRの中ではまだまだちょっと回収をJRの資産として回収をしていかなきゃいけない、電気構造物とかそういった物があるようで、それを今の線路を使ってどうも回収をされたいという事があるようでございますので、それが終わってからやはり鉄橋を落とすとかかっていう話もございまして、トンネルを塞ぐという話もあるんですが、そういう一連の作業が終わってから必要な部分は線路は撤去するという事になってこようかというふうに思っております。

議長 はい、3番高良議員。

3番高良議員 それは説明で聞いて知っておる訳ですが、その電気設備を撤去されてそれを当然、橋も撤去するという、橋梁も撤去されるでしょう。トンネルの蓋もしなきゃならないでしょうが(=ならないでしょうが)、そういうのが概ね大体どのぐらい掛かって、それで最後の線路を撤去するのが、どのぐらいの時期になるかという説明を受けておられませんか。



議 長 番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本まちづくり推進課長 ちょっと時間が掛かるという事では回答を聞いておりますが、ちょっと時期的な具体的な回答というのは、ちょっと得ておらないという状況でございます。

議 長 3番高良議員。

3番高良議員 要は、我々はこの駅前周辺を町づくりのために活用しようとしておる訳で、それには当然、我々の方も計画を作ってやっていかなきゃならんと。その中で、じゃあいつ動き出せるかという目途というか、それはもって動かないとただ、遅くなります。いや、しばらく掛かります、という具体性の無い話ばかりでは、こちらの計画も進まんと思うのですが、その辺を含めてJRさんに我々に対しても廃止の時に、「跡をどうするんだどうするん、早く決めろ決めろ」と、こっちは急かされてやってきましたよね。昨年あたりは大変でしたよね。そういう中で川本町に対してはじゃなくてJR沿線の市町村に対しては、そうやって早く早くって言うておいて、いざ渡してしまつて自分たちの段になったら「いや、時間が掛かります」じゃあ余りにも無責任のような気がするんですが、その辺のところの申し出というか、貰った以上はこちらの計画もあるんだという事を、もうちょっと伝えていって欲しいなと思うんですが、それは可能だと思うんですが、どうでしょう。

議 長 番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本まちづくり推進課長 そういった点は可能であると思いますので、また折を見てというか、こちらの計画というものがですね、いろいろ決まってくる段階でJRの方とも相談をしたいというふうに思います。

議 長 再質問ありますか。3番高良議員。

3番高良議員 早く早くという訳ではありません。ただ時期的に示してもらわないと、こちらの計画が組めないという事で、その辺の事をお願いしたいと思います。それとこの川本の駅前、この跡地を駅を中心とした町づくりをされるとしていきたいという話を聞いておる訳ですが、その今これはある人が私に言った川本に来た時の印象だったんですが、今、駅前のどこのビルとは言いませんけど看板が落ちそうで下にバリケードが組んであります。そういうのを見てあれは何だと言われました。実はこうこうこうで、危ないからと言われた時に、駅前でそういう状態になっているのを何で構わないんだという事を言われまして、我々が言うのは個人の物とかどうのこうのと言うんですが、そんな事はないだろうと、顔だから町が金を出してでも改修して代執行した

3番  
高良議員 　　らどうなんだという話をされました。確かにその通りだなと思うんですが、そういうイメージですよ、そのイメージを良くするというような事は、代執行が出来るかどうか分かりませんが、そういう取り組みというものは出来ないのでしょうか。

議　長 　　番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本ま  
ちづくり推  
進課長 　　高良議員、言われるようにですね、非常に個人の所有物という取り扱い非常に難しいというところがあります。場合によっては県道ですので、その県道に係っておれば占用というところの話もあるかと思えます。私もその看板の話は他でもお聞きした事が、実はありますので、こちらの方からの投げかけというものも当然、必要なであろうというふうに思っております。いろいろと計画が進む中で又、必要に応じて県と話をしたり、ちょっと所有者さんとも話をしないといけないのかなという気はしております。

議　長 　　再質問ありますか。3番高良議員。

3番  
高良議員 　　一応、事情が全く分からない訳ではない訳ですが、やっぱり外から見た人はこちらの事情は関係ない訳ですよ。見た目が悪いだらうってストレートに言われます。そういう事もあるんで、その川本町のイメージ的には、あそこの看板もですし、いつも話題になる町道へ倒れそうだという家もそうですが、その辺はやっぱりそういうどういいますか、映りの悪い物、印象が悪くなるような物はなるべく、それは個人の財産と言われればそれまでなんです、それは町の施策としてなるべく綺麗にしていくようにせんと、何だこの町はと思われ兼ねないのが常ではないかと思えますので、その辺の事を要らん事でも口を出すというようなスタンスでやっていかんと、なかなかその良くならないんじゃないかなと思えますので、そういう突っ込んだ対応をお願いをしておきます。

　　続いて、因原駅ですが、この因原駅は今日の2番議員さんの説明の時に道の駅も可成り高齢だということを総務課長の説明にありました。道の駅もご承知のように先ほど地域整備課長の答弁にもありましたが、手狭であるというように、いろいろ跡の事も話も出ておるようですが、この因原駅の周辺の跡地利用という事なんです、その道の駅を広げるにしても、あそこの森林公園になっておると思うんですが、その森林公園の解除というのは簡単にできるもんですか。農村公園ですか、すみません。

議　長 　　はい、番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本ま  
ちづくり推 　　以前ですね、因原の今は道の駅という言い方をしておりますが「インフォメーションセンターかわもと」という、これは農林を補助をいただいて施設

進課長

整備をしたところでございます。これが国交省の道の駅に用途を変えたというところがありまして、補助金の適化法に関するところの要件、補助金を返せというようなところは建物が用途が変更された時に、もうクリアはしておるといところでございますが、いわゆる農村公園の部分がちょっとどうかといいますと、ちょっと分からないところがございますが、そこら辺もよくちょっと調べて、またそこが農林の関係の補助金と絡みがあれば、やはりちょっとそこはちょっと気をつけてやらなきゃいけないのかなというところはありますけれども、そもそものJRの取得の部分の話をしますと、向こう側に片<sup>かた</sup>方<sup>ほう</sup>（＝片方）が国道でありまして、片方が線路に挟まれておる道の駅でございましたので、なかなか拡張が出来ない。それから駐車場も広げる事が出来ないという事がありました。それで今回、JRの土地を取得するという事にあっては、やはりもうちょっと駐車場も広く、それから建物自体も、もう少し奥に出来るんじゃないかという事で、場所の取得をするという事が出てきたというふうに思っておりますので、補助金等の絡みもありますけれども、やはりそれは良い形で例え動かすにしても良い形で出来ればという事を検討したいというふうに思います。

議 長

再質問ありますか。3番高良議員。

3番  
高良議員

動かせるものであればJRの線路敷跡地へ公園の方を動かして、道の駅を広げていくというのも手だろうと思うんですね。この間も道の駅が駐車場が狭いですからいっばいで、もうどうにもならん状態になっておりましたので、そういう事も必要ではないかと思うところです。出来る事であれば、そうやってでも少しでも道の駅をたくさんの人に来てもらって、活用していくようにするのが、我々の行政側の役目だろうと思いますので、対応をお願いしたいと思います。先ほどありました今、三江線運輸さんが使われておる倉庫ですよね、あの辺とか駅舎というのは今のままの状態で残る訳でしょうか。

議 長

番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本ま  
ちづくり推  
進課長

今、現段階においてはちょっと未だ検討の余地があるというところで、未だほぼ検討がされていないというところがありますので、もちろん事業者さんのご意向もあろうかと思っておりますので、そういったところ、その事業者さんの無理のないと言いましようか、ご意見も十分踏まえた上で使い道を考えていかなければならないというふうに考えますけれども、場合によっては町がどうしても使うという事になれば移動をしていただくような事も考えなければならぬかも知れませんが、未だちょっとそこの検討には至っておらないというところがございます。

議 長

再質問ありますか。3番高良議員。

3番  
高良議員

縷々聞いてきましたが、要はJ Rさんに我々が自由に使えるような時期をいつになるか示してもらおうこと。その時期を見ながら我々の計画を組んでいくという事が必要であると思われしますので、その早く々ではなくて時期の明確化をJ Rさんをお願いしていただきたいと思います。

以上をもちまして、私の質問を終わります。ありがとうございました。

議 長

はい、以上で、2項目めの「本町が取得したJ R跡地の利用計画を問う」の質問を終了します。

々

これもちまして、高良議員の一般質問を終了しました。